



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 東京産業株式会社

コード番号 8070 URL <http://www.tscom.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 里見 利夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 須藤 隆志

四半期報告書提出予定日 平成24年11月5日

配当支払開始予定日

TEL 03-5203-7841

平成24年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	75,186	△37.5	619	10.2	784	12.2	444	55.3
24年3月期第2四半期	120,261	53.4	562	125.7	699	95.9	286	56.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	16.56	—
24年3月期第2四半期	10.66	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	50,471		16,801			33.3
24年3月期	55,737		16,783			30.1

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 16,801百万円 24年3月期 16,783百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	251,000	△15.2	1,200	△27.7	1,400	△24.4	780	△9.6	29.04

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は添付資料P.5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	28,678,486 株	24年3月期	28,678,486 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	1,820,045 株	24年3月期	1,818,479 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	26,859,305 株	24年3月期2Q	26,861,399 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(7) 重要な後発事象	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に緩やかながら回復基調がみられたものの、欧州債務危機、中国・アジア新興国経済の減速、長引く円高、中国リスク等から、依然として先行きは不透明な状況となっております。

こうした情勢のもと、当社の当第2四半期累計期間の成約高は、前年同四半期に比べ1,352億4百万円減少の569億32百万円となりました。

当第2四半期累計期間の売上高につきましては、751億86百万円と前年同四半期を450億75百万円（前年同四半期比△37.5%）下回ることとなりました。

売上総利益は28億43百万円（前年同四半期比92百万円増、3.4%増）、営業利益6億19百万円（前年同四半期比57百万円増、10.2%増）、経常利益7億84百万円（前年同四半期比85百万円増、12.2%増）、四半期純利益4億44百万円（前年同四半期比1億58百万円増、55.3%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

第1四半期会計期間より、より一層のシナジー効果を目指し事業部門を見直し、従来「その他」に含めていた営業開発関連部門を、「化学機械関連部門」セグメントへ組み入れております。なお、当第2四半期累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

受注及び販売の状況  
第2四半期累計期間

(単位:百万円)

セグメント別	成 約 高			売 上 高			成 約 残 高		
	上段当期 下段前期	構成比 (%)	増減額	上段当期 下段前期	構成比 (%)	増減額	上段当期 下段前期	構成比 (%)	増減額
電 力 関連部門	36,435 (170,081)	64.0 ( 88.5)	△133,645	53,679 (100,910)	71.4 ( 83.9)	△47,230	298,223 (212,556)	95.1 ( 88.8)	85,666
化学機械 関連部門	7,231 ( 11,322)	12.7 ( 5.9)	△4,090	8,247 ( 8,270)	11.0 ( 6.9)	△22	4,828 ( 7,245)	1.5 ( 3.0)	△2,417
電子精機 関連部門	8,285 ( 6,194)	14.6 ( 3.2)	2,090	7,705 ( 5,436)	10.2 ( 4.5)	2,268	6,795 ( 6,058)	2.2 ( 2.5)	737
環境・船舶 関連部門	3,040 ( 2,677)	5.3 ( 1.4)	362	3,746 ( 3,873)	5.0 ( 3.2)	△126	2,512 ( 11,782)	0.8 ( 4.9)	△9,269
その他	1,938 ( 1,860)	3.4 ( 1.0)	77	1,806 ( 1,771)	2.4 ( 1.5)	35	1,313 ( 1,843)	0.4 ( 0.8)	△530
合計	56,932 (192,136)	100.0 (100.0)	△135,204	75,186 (120,261)	100.0 (100.0)	△45,075	313,673 (239,487)	100.0 (100.0)	74,185

## (電力関連部門)

売上高は536億79百万円と前年同四半期に比べ472億30百万円の減少となっております。また、成約高は364億35百万円(前年同四半期比1,336億45百万円減)、成約残高は2,982億23百万円(前年同四半期比856億66百万円増)となり、営業利益は1億33百万円(前年同四半期比86百万円減)となりました。

## (化学機械関連部門)

売上高は82億47百万円と前年同四半期に比べ22百万円の減少となっております。また、成約高は72億31百万円(前年同四半期比40億90百万円減)、成約残高は48億28百万円(前年同四半期比24億17百万円減)となり、営業損失は24百万円(前年同四半期は98百万円の営業利益)となりました。

## (電子精機関連部門)

売上高は77億5百万円と前年同四半期に比べ22億68百万円の増加となっております。また、成約高は82億85百万円(前年同四半期比20億90百万円増)、成約残高は67億95百万円(前年同四半期比7億37百万円増)となり、営業利益は3億19百万円(前年同四半期比1億87百万円増)となりました。

## (環境・船舶関連部門)

売上高は37億46百万円と前年同四半期に比べ1億26百万円の減少となっております。また、成約高は30億40百万円(前年同四半期比3億62百万円増)、成約残高は25億12百万円(前年同四半期比92億69百万円減)となり、営業利益は92百万円(前年同四半期比83百万円増)となりました。

## (その他)

売上高は18億6百万円と前年同四半期に比べ35百万円の増加となっております。また、成約高は19億38百万円(前年同四半期比77百万円増)、成約残高は13億13百万円(前年同四半期比5億30百万円減)となり、営業利益は98百万円(前年同四半期比3百万円減)となりました。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (イ) 資産の部

当第2四半期会計期間末における総資産は、504億71百万円となり、前事業年度末と比較して52億66百万円の減少となりました。主な要因として、売上債権の減少及び前渡金の増加等により流動資産が52億12百万円減少し、土地の売却及び繰延税金資産の増加等により固定資産が53百万円減少したことによるものであります。

## (ロ) 負債の部

当第2四半期会計期間末における負債合計は336億69百万円となり、前事業年度末と比較して52億84百万円の減少となりました。この主な要因は、仕入債務の減少及び前受金の増加等により流動負債が51億76百万円減少し、繰延税金負債の減少等により固定負債が1億7百万円減少したことによるものであります。

## (ハ) 純資産の部

当第2四半期会計期間末における純資産合計は168億1百万円となり、前事業年度末と比較して18百万円の増加となりました。この結果自己資本比率は33.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前年同四半期末と比較して3億78百万円増加の77億20百万円となりました。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、増加した資金は10億10百万円となりました。収入の主な内訳は、売上債権の減少額139億50百万円等であり、支出の主な内訳は仕入債務の減少額126億61百万円等であります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、増加した資金は50百万円となりました。収入の主な内訳は定期預金の払戻による収入5億円等であり、支出の主な内訳は投資有価証券の取得による支出5億円等であります。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、減少した資金は1億41百万円となりました。これは主に配当金の支払によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想は、10月26日に修正発表の通り、売上高2,510億円(15.2%減)、営業利益12億円(27.7%減)、経常利益14億円(24.4%減)、当期純利益7億80百万円(9.6%減)を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響額は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,193	5,612
受取手形及び売掛金	28,931	14,980
有価証券	2,596	2,581
商品	393	523
前渡金	10,315	18,590
その他	498	398
貸倒引当金	△106	△77
流動資産合計	47,822	42,610
固定資産		
有形固定資産	2,833	2,738
無形固定資産	39	32
投資その他の資産		
投資有価証券	3,916	3,899
その他	1,197	1,257
貸倒引当金	△72	△67
投資その他の資産合計	5,042	5,089
固定資産合計	7,914	7,861
資産合計	55,737	50,471
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,032	6,753
受託販売未払金	17,516	5,147
短期借入金	1,570	1,570
未払法人税等	559	311
前受金	10,966	18,883
引当金	320	284
その他	487	327
流動負債合計	38,453	33,277
固定負債		
長期借入金	10	5
引当金	189	156
その他	301	231
固定負債合計	500	392
負債合計	38,954	33,669



(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,443	3,443
資本剰余金	2,655	2,655
利益剰余金	10,614	10,945
自己株式	△535	△536
株主資本合計	16,177	16,508
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	466	172
繰延ヘッジ損益	△4	△2
土地再評価差額金	144	123
評価・換算差額等合計	605	293
純資産合計	16,783	16,801
負債純資産合計	55,737	50,471

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	120,261	75,186
売上原価	117,511	72,343
売上総利益	2,750	2,843
割賦販売未実現利益戻入額	2	0
差引売上総利益	2,753	2,844
販売費及び一般管理費	2,190	2,224
営業利益	562	619
営業外収益		
受取利息	12	14
受取配当金	111	109
その他	26	50
営業外収益合計	149	175
営業外費用		
支払利息	8	8
その他	4	2
営業外費用合計	12	10
経常利益	699	784
特別利益		
投資有価証券売却益	—	9
有形固定資産売却益	—	2
その他	—	1
特別利益合計	—	14
特別損失		
投資有価証券評価損	143	50
その他	0	0
特別損失合計	143	50
税引前四半期純利益	556	747
法人税、住民税及び事業税	224	325
法人税等調整額	44	△22
法人税等合計	269	302
四半期純利益	286	444

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	556	747
減価償却費	126	121
投資有価証券評価損益(△は益)	143	50
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△2
有形固定資産処分損益(△は益)	0	0
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△9
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△120	△34
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1	△1
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△15	△35
退職給付及び役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△20	△31
受取利息及び受取配当金	△123	△124
支払利息	8	8
売上債権の増減額(△は増加)	△885	13,950
たな卸資産の増減額(△は増加)	△203	△129
リース投資資産の増減額(△は増加)	11	10
仕入債務の増減額(△は減少)	363	△12,661
未払又は未収消費税等の増減額	14	△54
その他	1,231	△352
小計	1,084	1,452
利息及び配当金の受取額	123	124
利息の支払額	△8	△8
法人税等の支払額	△177	△558
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,022	1,010
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△300	—
定期預金の払戻による収入	—	500
有形固定資産の取得による支出	△67	△152
有形固定資産の売却による収入	39	136
無形固定資産の取得による支出	△0	△0
関係会社株式の取得による支出	△38	—
投資有価証券の取得による支出	△195	△500
投資有価証券の売却による収入	—	35
貸付けによる支出	△2	—
貸付金の回収による収入	13	32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△551	50

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	860	860
短期借入金の返済による支出	△860	△860
長期借入金の返済による支出	△5	△5
リース債務の返済による支出	△2	△1
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△133	△134
財務活動によるキャッシュ・フロー	△140	△141
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	325	918
現金及び現金同等物の期首残高	7,015	6,801
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,341	7,720

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電力 関連部門	化学機械 関連部門	電子精機 関連部門	環境・船舶 関連部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	100,910	8,270	5,436	3,873	118,490	1,771	120,261
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	100,910	8,270	5,436	3,873	118,490	1,771	120,261
セグメント利益	220	98	132	9	461	101	562

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新事業推進関連部門、不動産賃貸部門であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	461
「その他」の区分の利益	101
四半期損益計算書の営業利益	562

## II 当第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電力 関連部門	化学機械 関連部門	電子精機 関連部門	環境・船舶 関連部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	53,679	8,247	7,705	3,746	73,379	1,806	75,186
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	53,679	8,247	7,705	3,746	73,379	1,806	75,186
セグメント利益又は損失 (△)	133	△24	319	92	521	98	619

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新事業推進関連部門、不動産賃貸部門であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	521
「その他」の区分の利益	98
四半期損益計算書の営業利益	619

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期会計期間より、より一層のシナジー効果を目指し事業部門を見直し、従来「その他」に含めていた営業開発関連部門を、「化学機械関連部門」セグメントへ組み入れております。

なお、前第2四半期累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第2四半期累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (7) 重要な後発事象

該当事項はありません。